

平成29年度事業報告書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

社会福祉法人 有田つくし福社会

1 法人の概要

主たる事務所所在地……………和歌山県有田郡湯浅町大字栖原187番地の1

電話番号……………0737-64-1866

代表者氏名……………理事長 西林久子

法人認可年月日……………平成12年7月14日

法人認可番号……………441

設立登記年月日……………平成12年7月21日

2 法人の行う事業

事業の種類……………第2種社会福祉事業

拠点区分「つくし」

名称……………つくし共同作業所

事業種別……………生活介護・就労継続支援B型（多機能型）

管理者名……………野下康雄

定員／日均利用者数……………40人／44.0人

職員数／支援職員常勤換算……………20人／11.8人（年度末時点：併設分を含む）

就労支援事業指導員数……………6人（年度末時点）

備考……………利用契約者数：55人（年度末時点）

本体及び出張所各1箇所

名称……………つくしんぼショート

事業種別……………障害者・児童日中一時支援（市町村所管：つくし共同作業所に併設）

拠点区分「早月」

名称……………早月農園

事業種別……………就労継続支援B型

管理者名……………西林則男

定員／日均利用者数……………20人／16.9人

職員数／支援職員常勤換算……………12人／5.3人（年度末時点）

就労支援事業指導員数……………2人（年度末時点）

備考……………利用契約者数：23人（年度末時点）

拠点区分「あつぷる」

名称……………あつぷるホーム

事業種別 ……共同生活援助、短期入所（共同生活援助に併設）
 管理者名 ……西林則男
 定員／日均入居者数 ……12人／10.1人
 短期入所定員／日均利用者数 ……4人／0.5人（延べ186人）
 職員数／支援職員常勤換算 ……14人／夜勤分を除き5.2人（年度末時点：併設分を含む）
 備考 ……入居契約者数：12人（年度末時点）
 共同生活住居（ホーム）2箇所

拠点区分「センター」

名称 ……有田地域生活支援センターつくし
 事業種別 ……一般・特定・障害児相談支援、市町村相談支援事業（受託）
 管理者名 ……長尾正子
 職員数 ……3人（公益事業を含む）
 名称 ……有田圏域基幹相談支援センターあねっと
 事業種別 ……基幹相談支援センター等機能強化事業（受託）
 職員数 ……1人
 備考 ……和歌山県福祉事業団と共同受託 事業所は同事業団内

事業の種類 ……公益事業

拠点区分「センター」

名称 ……有田地域生活支援センターつくし
 事業種別 ……在宅リハビリテーション推進強化事業（受託）
 備考 ……本事業は第2種社会福祉事業の有田地域生活支援センターつくし
 と一体的に運営し、会計も同一拠点区分として処理している。

3 定款変更の状況

なし

4 役員・評議員の状況

役職	氏名	就任年月日	現職	備考
理事長	西林久子	平成29年6月23日	当法人職員	元つくし共同作業所運営委員長
理事	馬谷哲雄	平成29年6月23日	会社役員	元つくし共同作業所事務局長
理事	鬼松光夫	平成29年6月23日	無職	元後援会長 元つくし共同作業所施設長
理事	刑部悦代	平成29年6月23日	看護師	元つくし共同作業所運営委員長
理事	長尾正子	平成28年7月22日	当法人施設長	支援センターつくしセンター長 保護者
理事	西林則男	平成29年6月23日	当法人施設長	早月農園施設長
理事	野下康雄	平成29年6月23日	当法人施設長	つくし共同作業所施設長
監事	岡八重子	平成29年6月23日	税理士	会計事務所経営
監事	玉置春樹	平成29年6月23日	無職	保護者
評議員	家本欣明	平成29年4月1日	会社役員	後援会役員

評議員	境 久	平成29年4月1日	無 職	元保護者
評議員	竹中信義	平成29年4月1日	農 業	後援会長
評議員	栩野さえ子	平成29年4月1日	無 職	後援会役員
評議員	中西久光江	平成29年4月1日	会社役員	元後援会役員
評議員	藤原さよみ	平成29年4月1日	農 業	保護者会長
評議員	松下加壽美	平成29年4月1日	会社員	地域住民代表
評議員	松本伊央	平成29年4月1日	自 営	地域住民代表

5 理事会・評議員会開催状況

◇理事会

第1回 平成29年6月8日 出席（理事6人・監事1人）

議事内容

- 1 平成28年度事業報告・決算について……………原案通り承認
- 2 定時評議員会の招集について……………原案通り承認
- 3 諸規程の改定について……………原案通り承認

第2回 平成29年6月23日 出席（理事5人）

議事内容

- 1 理事長の選出について……………原案通り承認

第3回 平成29年11月6日 出席（理事7人・監事1人）

議事内容

- 1 新事業計画における資金借入について……………原案通り承認
- 2 新事業計画の入札の実施について……………原案通り承認
- 3 平成29年度第1次補正予算について……………原案通り承認
- 4 経理規程の改定について……………原案通り承認
- 5 評議員会の招集について……………原案通り承認

第4回 平成30年3月29日 出席（理事6人・監事1人）

議事内容

- 1 理事長職務施行状況報告……………原案通り承認
- 2 平成29年度第2次補正予算について……………原案通り承認
- 3 平成30年度事業計画・予算について……………原案通り承認
- 4 諸規程の新設・改定について……………原案通り承認
- 5 「有田つくし福祉会オリーブ増築工事」入札の結果について……………原案通り承認
- 6 その他……………原案通り承認

◇評議員会

第1回 平成29年6月23日 出席（評議員7人）

議事内容

- 1 平成28年度事業報告・決算について……………原案通り承認
- 2 役員及び評議員の報酬等支給基準について……………原案通り承認
- 3 役員の選任について……………原案通り承認

第2回 平成29年11月9日 出席（評議員7人）

議事内容

- 1 新事業計画における資金借入について……………原案通り承認

6 主務官庁による監査等実施状況

主務官庁	監査等実施日	対象
和歌山県有田振興局	平成29年10月5日	あっぷるホーム（共同生活援助・短期入所）
和歌山県障害福祉課	平成30年2月7日	社会福祉法人有田つくし福祉会（法人）
和歌山県障害福祉課	平成30年2月7日	つくし共同作業所（生活介護・就労継続支援B型）
和歌山県障害福祉課	平成30年2月8日	早月農園（就労継続支援B型）

7 許可・認可・および承認に関する事項

なし

8 法人運営に関する特記事項

なし

9 運営の状況

◇法人運営

1、理事会・評議員会

前年度事業報告・決算、役員改選、理事長選任、役員等報酬基準制定、諸規程改定、予算補正、新事業開設関連（資金借入・入札等）、次年度事業計画・予算などの案件について、理事会を4回、評議員会を2回開催した。

2、事業の整備状況

引き続き「つくし共同作業所（出張所を含む）」・「つくしんぼショート」（就労支援・生活の支援、日中一時支援）、「早月農園」（就労支援・生活の支援）、「あっぷるホーム」（地域生活の支援、短期入所）、「有田地域生活支援センターつくし」・「有田圏域基幹相談支援センターあねっと」（相談支援・在宅支援等、基幹相談支援センター）を行った。

かねて準備を進めていた、つくし共同作業所出張所建屋を増築する新事業計画について、平成30年度開設予定で指名競争入札を実施し、増築工事に着手した。平成30年7月に独立した就労継続支援B型事業所「カフェ&ベーカリー・オリーブ」及び相談支援等を行う「有田地域生活支援センターつくし」の新事務所として活動を開始する予定である。

3、職員の資質・専門性の向上

年間研修計画をもとに、研修の重要性、職員間の必要性・公平性を考慮しながら職員研修を実施した。本年度はサービス管理責任者研修を2名（計3分野）終了、他に相談支援従事者現任研修を2名受講した。

全職員対象の法人内研修を、外部講師及び内部伝達研修として計2回実施（苦情解決、虐待防止）した。そのほか研修を行った分野として（複数法人での合同自主研修を含む）、障害福祉施策の解説・動向、利用者支援として虐待防止や人権擁護・強度行動障害・PWS・手話など、就労、生産活動関連（製パン、農業等）、食品衛生、社会福祉法人会計など。また法人内有志一同で自主研修として他法人事業所見学を1回行った。

4、対外活動など

定例的な地域交流行事として、早月農園で「喫茶はやつき」（毎月）、つくし共同作業所出張所（オリーブ）で「オリーブ秋まつり」（10月）を開催した。毎年恒例の「つくしバザー」については、本年度は台風接近による悪天候でやむなく中止となった。ほか地域団体主催の「ふれあい夏まつり」参加や、地元文化祭への出展、地域行事への参加・販売などを行った。

社会福祉法人の地域における公益的な取り組みとして、早月農園を実施拠点にして「地域の高齢者家庭への昼食弁当無料提供事業」を定期的に行った。当該活動は県社協から公益的取組モデル事業に選出され助成をいただいた。

例年に引き続き、後援会・保護者会及び地域の多数のボランティアから、訪問販売や地域行事での物品販売、農作業指導、さをり商品化、物品寄付等の協力をいただいた。

インターネットホームページ及び紙面の「つくしだより」において法人・事業の理念や活動、財務状況など各種情報を発信・公開した。

◇各事業

1、拠点区分「つくし」

「つくし共同作業所（含出張所）」（生活介護・就労継続支援B型）

「つくしんぼショート」（併設：日中一時支援）

①事業・定員

- ・生活介護（定員8）・就労継続支援B型（定員32）を多機能型として、及び併設事業として日中一時支援（つくしんぼショート：地域生活支援事業）を行った。

②支援内容

生活介護

- ・日常生活支援：毎日の体調チェック、服薬・食事・整容・排泄等の支援、支援プログラムによる定期的な活動（散歩・体操・腹筋運動・創作的活動・買い物・公共施設利用・ドライブ・足浴・音楽療法など）
- ・生産活動：生活介護班として主として企業・農家からの下請け作業
- ・年間延べ利用者数は2,483人（1日あたり9.6人 定員比120.0%）

就労継続支援B型

- ・生産活動による適性に応じた労働訓練：

本体班→パン訪問販売・配達、煎餅製造・販売、家庭用品の下請け、米袋再製品化、さをり織り、廃品リサイクル等

出張所班→「カフェ&ベーカリー・オリーブ」におけるパン製造・店頭販売・喫茶・訪販・納品等

- ・一般就労に向けた支援：施設外の実習事例は無かった。1名の利用者が一般就労した。
- ・年間延べ利用者数は8,991人（1日あたり34.5人 定員比107.8%）

事業間共通

- ・全利用者が給食サービスを利用した。必要な利用者にはアレルギー対応食・刻み食を提供した。
- ・外部医療機関による健康診断を1回行った。生活介護以外の利用者も体調把握のため毎月血圧・身体測定を行った。また希望者のみインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・消防・避難等訓練について、本体においては消防立会と自主訓練を1回ずつ、出張所においては自主訓練を3回（1回目は事情により前年度分を4月実施）行った。
- ・法人内事業所全体で「つくし運動会」、保護者会と共同で大阪へのバス旅行を行った。自主行事として「オリーブ秋まつり」や忘年会を行ったほか、地域団体等主催の行事に参加した。
- ・合計の年間延べ利用者数は11,474人（前年度+9人）、1日あたり利用者数は44.0人とほぼ横ばいであった。
- ・送迎サービスの延べ利用回数は13,719回（片道1回の計算）となり、送迎利用率は六割近くとなった。

日中一時支援

- ・有田地方自治体（有田市、有田川町、湯浅町、広川町）と契約を継続した。
- ・つくし共同作業所の併設事業として支援日・支援内容は同作業所に準じ、必要に応じ別途対応とする体制で行った。
- ・地域に社会資源が増えたこともあり最近数年は利用が極めて低水準であるが、本年度も利用実績は1件のみであった。

③生産活動全般（生活介護・就労継続支援B型計）

<事業収入>

収入額合計 36,565,735円（前年度から約5.7%減）

パン店頭販売・卸売……………29,295,171円（前年度から約7.4%減）

パン訪問販売……………3,835,179円（前年度から約0.8%減）

さをり・下請け・煎餅等……………3,435,385円（前年度から約5.2%増）

<利用者工賃（賃金）>

配分額合計 15,446,033円（前年度から約0.8%減）

就労継続支援B型

平均月額……………27,873円（前年度△72円） 県標準算出法による

平均時給額……………319円（前年度+3円） //

生活介護

平均月額……………11,882円（前年度+260円） 県標準算出法による

平均時給額……………118円（前年度+3円） //

年間最高額1,046,837円（前年度+100,174円）

パン事業

- ・出張所において自家製生地によるパン製造・店頭販売、本体において地域の訪問販売（有田市・湯浅町・広川町地区）を主として行った。
- ・早月農園への卸売、「ありだっこ」「藤並駅販売所」など地域の店舗へ納品・委託販売、ほか注文販売などを行った。
- ・競合店の増加もあり本年度は店頭販売が減少、訪問販売も微減であったため、事業収入は前年度比でマイナスとなった。
- ・恒例として6月に周年フェア（9周年）、10月に地域交流を兼ねた「秋まつり」を開催した。

さをり・下請け・煎餅事業

- ・新たに始めた米袋再製品化作業等により事業収入は増加した。
- ・多彩な品揃えのさをり織りや地域の特産品を使った煎餅は引き続き堅調であった。
- ・下請けは、業者からの家庭用品、米袋等、農家から出荷ダンボール組み立て等、リサイクル作業としてアルミ缶ほか廃品類の回収・出荷作業を行った。

④その他

1 日あたり利用者数は前年度に引き続き定員を上回る結果となった（制度の上限範囲内）。出張所の独立事業所化（定員増）で、定員を継続して上回っている状況は解消される見込である。

2、拠点区分「早月」

「早月農園」（就労継続支援B型）

①事業・定員

- ・就労継続支援B型（定員20）を行った。

②支援内容

- ・生産活動による適性に応じた労働訓練：農業に関する作業、パン訪問販売など。両者には明確な活動班の区分を設けず、利用者の体調など時々の状況を見て対応した。
- ・一般就労に向けた支援：施設外の実習事例は無かった。1名の利用者が一般就労した。
- ・全利用者が給食サービスを利用した。
- ・外部医療機関による健康診断を1回を行ったほか、体調把握のため毎月血圧・身体測定を行った。また希望者のみインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・消防・避難等訓練について、自主訓練を2回行った。
- ・法人内事業所全体で「つくし運動会」、保護者会と共同で大阪へのバス旅行を行った。自主行事として地域交流を兼ねた毎月の「喫茶はやつき」、恒例の夏季バーベキュー大会やレクリエーション（ボウリング）、年末に忘年会を行った。また地域団体等主催の行事に参加した。
- ・年間延べ利用者数は4,397人（前年度+315人 1日あたり16.9人 定員比84.5%）
- ・送迎サービスの延べ利用回数は8,460回（片道1回の計算）となり、事業所の立地条件により送迎利用率は96%以上であった。

③生産活動

<事業収入>

収入額合計 16,273,163円（前年度から約39.1%増）

農業……………13,747,057円（前年度から約50.8%増）

パン訪販…… 2,526,106円 (前年度から約2.2%減)

<利用者工賃(賃金)>

配分額合計 7,362,405円 (前年度から約33.8%増)

平均月額…… 30,298円 (前年度+6,381円) 県標準算出法による

平均時給額…… 391円 (前年度+73円) //

年間最高額743,525円 (前年度+113,517円)

- ・工賃実績は前年度を大きく上回り、法人内で初めて月額30,000円以上の水準となった。

農業事業

- ・借受農地が大幅に広がったこと等により、事業収入は過去最高となった。
- ・果樹園による果樹栽培、露地・ビニルハウスによる野菜類栽培を行い、出荷、販売した。
- ・栽培品種は、みかん・はっさく・梅等の果樹、白菜、レタス、ふき、ブロッコリー、菜花、玉ねぎ、じゃがいも、里芋、ヤーコン、かぼちゃ、きゅうり、ししとう、なすび、ミニトマト、ピーマン、パプリカ、とうもろこし、ゴーヤ、椎茸、オクラ、まめ、小豆、ニラ、山椒など。
- ・収穫物を利用した自主製品として年度半ばにジャム・マーマレード製造機器を整備し、試作と小規模な販売を開始した。
- ・例年どおり夏場の暑さ対策には入念に配慮を行った。

パン訪問販売事業

- ・事業収入は過去最高であった昨年度比で微減であった。
- ・事業所地元の有田川町地区において、カフェ&ベーカリー・オリーブのパンの地域訪問販売をおこなった。
- ・販売担当エリアが広域かつ山間部に及ぶこと、訪問先の状況や需要に応じて柔軟な対応が必要なことなどのため、パンの仕入れと販売・職員体制を工夫して対応した。

④その他

- ・新たに2.1haの果樹園の新規借受があり、農地は従来の倍以上の約3.6haとなった。農地管理のために農業専任の就労支援事業指導員を増員(1名→2名)し、一部を地元農家に業務委託とすることで対応した。

3、拠点区分「あっぷる」

「あっぷるホーム」(共同生活援助)

(併設：短期入所)

①事業・定員

- ・共同生活援助(定員12：男性6女性6の2住居)及び併設事業として短期入所(定員4：男性2女性2)を行った。

②支援内容

- ・夜間の支援について、引き続きキーパー(世話人・生活支援員)が各住居で夜勤として勤務する体制で実施した。
- ・週1回看護師が出勤し、定期的に血圧等の体調チェックを行った。また希望者のみインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・消防・避難等訓練について、消防立会で1回(消火訓練のみ)、自主訓練を2回(1回目は事情

により前年度分を4月実施)行った。

- ・年末に住居間合同でクリスマス会を行った。また法人全体で「つくし運動会」を行った。
- ・5月に地区の清掃作業に職員・利用者で参加した。
- ・支援の課題や情報を共有するため、定期的に職員連絡会議(各キーパー及びサービス管理責任者・管理者など)を開催した。従来は住居ごとに行ってきたが、必要に応じて合同で行った。
- ・共同生活援助の入居者は当法人の日中活動サービス利用者が多いが、その他に一般就労者や他法人の利用者など多岐にわたり、帰宅時間や休日等が異なるため、必要な箇所と連絡を取り合い伝達事項等に注意した。
- ・共同生活援助について、1年を通じて契約者数は12人(定員空きなし)であった。年間延べ利用者数は3,695人(1日あたり10.1人:週末帰省などにより実利用人員は契約者数以下となる)であった。
- ・短期入所の年間延べ利用者数は186人(1日あたり0.5人)で、昨年度より110人下回った。昼間時の需要に応えられるように支援体制を整えて対応したが、利用実績としては日中活動サービスとの併用が多くを占めた。

③その他

- ・緊急の医療機関受診、入院時対応や休日の生活支援、短期入所の平日日中支援など、従来より幅広い支援が必要になってきており、随時対応できる職員体制の構築に努めたが、求人難の時勢にあって苦心した。また小規模事業のため入居者の利用動向により収益の振れ幅が大きく、今後の事業課題である。

4、拠点区分「センター」

「有田地域生活支援センターつくし」(一般・特定・障害児相談支援)

(在宅リハビリテーション推進強化事業)

(市町村相談支援事業)

「有田圏域基幹相談支援センターあねっと」(基幹相談支援センター機能強化事業)

①事業

- ・一般・特定・障害児相談支援、受託事業として在宅リハビリテーション推進強化事業及び市町村相談支援事業、基幹相談支援センター機能強化事業を行った。担当職員で役割分担しつつ相互補完により運営合理化に努めた。

<一般・特定・障害児相談支援>

県指定の一般相談支援事業(地域移行・地域定着支援)、市町村指定の特定相談支援事業(計画作成)・障害児相談支援事業(計画作成・相談)を行った。

- ・一般相談支援：支援実績 0件 本年度の支援実績は無かった。
- ・特定相談支援：計画作成実績 227件・モニタリング実績378件
- ・障害児相談支援：計画作成実績 7件・モニタリング実績9件

<在宅リハビリテーション推進強化事業>

和歌山県から受託を継続した。契約した各分野の専門職とともに地域の家庭や事業所などへ訪問して下記の活動を行い、障害・躓きの早期発見、早期療育の観点に立ち、事業の質を高めるように務めた。

- ・在宅支援訪問リハビリ等指導事業（本年度実績 364件）

地域の家庭や施設・事業所などを訪問して、生活状況の把握、看護師による体調チェック・体調観察、保育士による療育支援、盲学校・ろう学校教員による視力聴力相談・学習支援、理学療法士による機能訓練・発達観察、音楽療法士による音楽療法などの支援活動や各種相談

- ・施設支援一般指導事業（本年度実績 132件）

地域の学校、保育所、障害福祉事業所等へ訪問して、盲・ろう学校教員、保育士、理学療法士、音楽療法士による職員への各種助言・技術指導など

<市町村相談支援事業>

有田地方各自治体（有田市・湯浅町・広川町・有田川町）から、和歌山県福祉事業団「サポートセンターゆい」（以下「ゆい」と）共同で受託を継続した。事業運営にあたっては双方で連携し、役割を分担・協働して、身体・知的・精神障害及び発達障害の方などを対象に相談支援活動を行った。

- ・市町村相談支援（支援実績 253人・延べ3,563件：有田市93人・延べ1,420件、湯浅町79人・同1,251件、広川町54人・同661件、有田川町27人・同231件）

主な支援内容

- ・日中活動や居宅支援などの福祉サービス利用について
- ・福祉機器の利用、医療・健康管理、金銭管理、余暇・外出支援、通院引率などについて
- ・障害基礎年金、障害者手帳の申請の支援について
- ・求職活動、職場定着の支援などについて
- ・その他の相談

<基幹相談支援センター等機能強化事業>

有田地方各自治体（有田市・湯浅町・広川町・有田川町）から市町村相談支援事業とともに受託、和歌山県福祉事業団と共同で「有田圏域基幹相談支援センターあねっと」（以下「あねっと」）を運営した。

「あねっと」の運営管理は和歌山県福祉事業団が主体となり「ゆい」に隣接して拠点を設置し、当法人担当分として職員1名が活動した。

同事業では、相談支援の困難ケースへの対応、相談支援事業者への専門的な指導・助言・人材育成の支援（研修など）、各相談機関との連携強化、圏域自立支援協議会の運営、各種制度の普及啓発などについて、事業計画に沿って、毎月の定例会議によって事例共有等を行いながら実施した。

その他「あねっと」では地域生活支援拠点設置に向けての取り組みや、防災に関する意識啓発に重点的に取り組んだ。

②その他

かねてより内容と人員に比して手狭なスペースで業務を行ってきたが、オリーブ増築工事に合わせて同建屋内に事務所を移転することとなり、事前準備を進めた。

平成29年度 事業所行事等実施状況

つくし共同作業所 (つ)、つくし共同作業所出張所オリーブ (オ)、早月農園 (早)、あっぷるホーム (あ)

前半		後半			
4月	4.3	入所式・花見 (早)	10月	10.2	避難訓練 (つ)
	4.12	花見 (つ)		10.7	オリーブ秋祭り (つ・オ・早)
	4.12	避難訓練 (あ)		10.22	つくしバザー (悪天候中止)
	4.15	喫茶はやつき (早)	11月	11.8・15	インフルエンザ予防接種 (早)
	4.22	地域高齢者家庭配食活動 (早)		11.11	地域高齢者家庭配食活動 (早)
	4.24	避難訓練 (オ)		11.14	避難訓練 (あ)
		11.18		喫茶はやつき (早)	
5月	5.20	喫茶はやつき (早)		11.27	健康診断 (つ・オ・早)
6月	6.3	スポーツ交流会参加 (つ・オ・早)	12月	12.7・14	インフルエンザ予防接種 (つ・オ・あ)
	6.17	後援会交流会 (つ)		12.16	喫茶はやつき (早)
	6.17	喫茶はやつき (早)		12.18	忘年会 (つ・オ・早)
	6.24	オリーブ9周年フェア (オ)		12.21	クリスマス会 (あ)
	6.24	地域高齢者家庭配食活動 (早)		12.25	避難訓練 (オ)
				12.28	仕事おさめ (つ・オ・早)
7月	7.15	喫茶はやつき (早)		12.29～	年末年始休業
	7.21	バーベキューのつどい (早)		～1.3	年末年始休業
8月	8.6	ふれあい夏まつり参加 (つ・オ・早)	1月	1.4	仕事はじめ (つ・オ・早)
	8.13～15	夏季休業 (つ・オ・早)		1.20	喫茶はやつき (早)
	8.17	レクリエーション：ボーリング (早)		1.27	地域高齢者家庭配食活動 (早)
	2月	8.19	喫茶はやつき (早)	1.29	避難訓練 (早)
		8.26	地域高齢者家庭配食活動 (早)	2.17	喫茶はやつき (早)
				2.20	避難訓練 (つ)
9月	9.1	避難訓練 (早)	3月	3.12	避難訓練 (あ)
	9.16	喫茶はやつき (早)		3.17	喫茶はやつき (早)
	9.24	つくし運動会 (つ・オ・早・あ)		3.19	避難訓練 (オ)
				3.24	地域高齢者家庭配食活動 (早)
			3.26	バス旅行：大阪 (つ・オ・早・あ／保護者会合同)	